

# 第4学年 社会科学学習指導案

指導者 柳原正輝

I 単元名 健康なくらしとまちづくり ーのぞいてみよう 水のむこうに見えるものー

## II 単元の指導構想

1 学習指導要領に示されている指導目標及び内容

### ○目標

(1) 地域の産業や消費生活の様子，人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし，地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

### ○内容

(3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水，電気，ガスの確保や廃棄物の処理について，次のことを見学，調査したり資料を活用したりして調べ，これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。

ア 飲料水，電気，ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり

イ これらの対策や事業は計画的，協力的に進められていること。

2 教材について

本単元「健康なくらしとまちづくり」は，前小単元「のぞいてみよう ごみのむこうに見えるもの」と本小単元から構成されている。

日常生活では，安全に水を使えることが当たり前になっている。蛇口をひねれば，安全な水を使いたいだけ使うことができる。盛岡市においてはこれまで，震災の際の断水等はあったものの，渇水による大きな給水制限の経験はない。子どもはもちろん，大人にとっても，きれいな水があって当然という意識が強い。しかしこれは，沢水や湧き水，井戸水等を利用して暮らしから脱却し，健康で安全な生活を営みたいという人々の思いと行政による組織的・計画的な取り組みがあったからである。単元名に「まちづくり」という言葉が入っている。本単元では，安全な水の確保と供給に従事する人々の工夫や努力を調べることで子ども一人一人が地域の一員として水をより身近にとらえ，水の背景にある事象や人の営みと自分たちの生活とのかかわりについて考えていく態度を養うことを目指している。

「水」は目には見えるものの，ごみに比べてすぐに流れ去ってしまうため，子どもたちが問題意識をもって追究し続けることができるような工夫が必要である。

3 子どもについて

前小単元のごみの学習では，ごみの種類や処理の仕方，資源化や再利用，減量の取組について調べることで，ごみの処理は自分たちの生活とかわりがあり，その対策や事業が自分たちの健康な生活を維持するために，計画的に人々の協力を得ながら進められていることをとらえてきている。また，ごみの問題は簡単に解決できることではないが，様々な立場の人が協力したり工夫したりしていくことの大切さを感じてきている。

子どもたちは，設定した学習問題について，既習や経験をもとに予想したり，資料を用いて調べたりすることができる。明らかになったことを再構成して表現することもできるようになってきている。

しかし，調べたことから自分の考えをもつことを苦手としている子どもも多い。この点においては，岩手県学習定着度状況調査5年社会科の本校の子どもたちの課題が本学級にも当てはまると言える。また，昨年度実施した標準学力検査の結果から，学習に対する関心・意欲・態度が低い傾向にあることが明らかになっている。

このことから，地域や社会のできごと，人の生き方などについての関心を高め，社会的事象について違った角度や立場からも見たり考えたりできるようにしていきたい。

4 復興教育（3つの教育的価値）との関連

(1) 生命や心について【いきる】 「⑦【体の健康】」とのかかわり

飲料水の確保に関わる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることをとらえ，健康な生活を維持していくためにできることを主体的に考える。

(2) 人や地域について【かかわる】 「⑨【仲間や地域の人々とのつながり】」とのかかわり

飲料水の確保について，関係機関と地域の人々が互いに協力していることや，従事している人々や地域の人々が様々な工夫や努力をしていること，それらの諸活動は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解する。

## III 単元の指導計画

1 目標

盛岡市で行われている飲料水の確保にかかわる事業や対策などについて，見学や聞き取り調査を行ったり，地図や統計などの具体的資料を効果的に活用したりしながら調べることを通して，飲料水の確保にかかわる事業や対策が計画的に進められ，自分たちの健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解するとともに，携わる人々の工夫や努力，生活との関連について考え，それらを適切に表現することができる。

2 評価規準

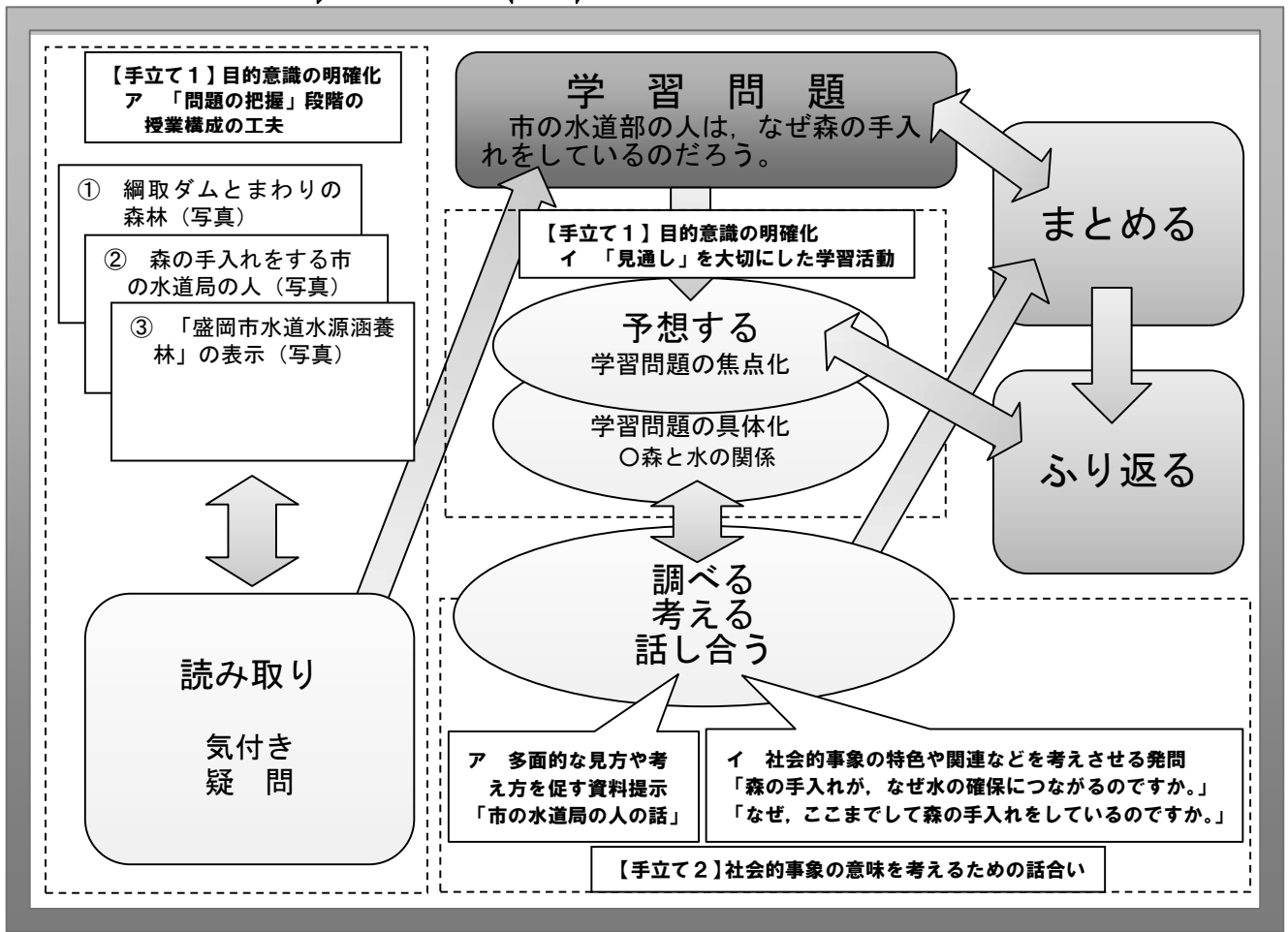
社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>① 飲料水の確保に関心をもち、意欲的に調べている。</p> <p>② 調べたことをもとに、自分たちの生活とのかかわりや自分にできることについて考えようとしている。</p>	<p>③ 飲料水の確保について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</p> <p>④ 飲料水確保にかかわる人々の取組と地域の人々の生活環境の維持、向上とを関連付けて考え、適切に表現している。</p>	<p>⑤ 見学，調査したり資料を活用したりして、飲料水の確保について必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>⑥ 調べて分かったことや、考えたことを文章に書きまとめている。</p>	<p>⑦ 飲料水の確保と自分たちの生活とのかかわりや、その対策や事業は計画的、協力的に進められていることを理解している。</p> <p>⑧ 飲料水確保の対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p>

3 指導計画（全11時間）

離	時	おもな学習活動	「目的意識の明確化」(○)と「事象の意味を 考える話合い」(◇)のポイント	指導上の留意点と評価
問 題 の 把 握	1	<p>① 生活の中のどのような場面で水が使われているか話し合う。</p> <p>わたしたちは一日に、どれくらいの水を使っているのだろう。</p> <p>② 家庭の水の使用量について調べる計画を立てる。</p>	○ トイレ1回に使う水の量を実物で提示し、子どもの予想との比較から驚きをもたせ、問題意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの家庭でどれくらい水が使われているのかを調べるための方法を確認させる。</li> </ul> <p>【評価①】</p>
	1	<p>① 家庭での「水の使用量調べ」をもとに、気付いたことを話し合う。</p> <p>② 学校の水の使用量や盛岡市全体の水の使用量から、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。</p> <p>わたしたちの生活に欠かせない水は、どこからどのように送られてくるのだろう。</p>	○ 「たくさんの水がどこからどのようにして送られてきているか」について問題意識をもたせ、その流れや関係する機関、たずさわる人などについて追究していく計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>水が使われている場面を具体的に提示することで、たくさんの水が多く生活場面で使用されていることを具体的にイメージさせる。</li> <li>家庭や学校以外にも水を使っていることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評価③】</p>
問 題 の 追 究	1	<p>じゃ口から出る水は、どこから、どのようにして送られてくるのだろう。</p> <p>① 家の水がどこから、どのようにして送られてくるのか予想し、話し合う。</p> <p>② 水が送られてくる流れを調べる。</p> <p>③ 水道の水が送られてくる経路を見て、気付いたことや調べてみたいことを話し合う。</p>	<p>○ 「どこから」と「どのように」という2つの視点をもたせ、追究の方向性とする。</p> <p>◇ 浄水場やダムがあることと自分たちの使っている水とのかかわりについて考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の場所を確認し、資料からどの浄水場から水が送られているのかをとらえさせる。</li> <li>水が家庭や学校に送られてくるまでを視覚的にとらえさせ、浄水場やダムへの関心をもたせる。</li> </ul> <p>【評価⑥】</p>
	1	<p>浄水場は、どのようにして水をきれいにしてしているのだろう。また、ダムは、どのようにして水をたくわえているのだろう。</p> <p>① 水をきれいにする仕組みと、水を蓄えておく仕組みについて予想する。</p> <p>② 予想を出し合い、調べる観点を明らかにする。 ・機械や設備・作業の手順・働く人の工夫や努力</p> <p>③ 見学の約束や持ち物などについて確かめる。</p>	○ 予想を浄水場とダムに分けて板書し、それぞれの調べる内容を明確にとらえさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>川の水と水道の水を提示し、水の色やにおいなどを比較させることで、具体的に予想させる。</li> <li>「濾過」「沈殿」などの用語については、意味を調べさせたり補足したりする。</li> </ul> <p>【評価③】</p>
	3	<p>浄水所とダムのはたらきをくわしく調べよう。</p> <p>① 調べる観面にしがたい、水をきれいにする仕組みと、水を蓄える仕組みを調べる。(社会科見学)</p>	◇ 「働く人たちの思いや、努力や工夫の理由」について考えさせるために、「働く人の水の確保への携わり方や安全・環境面に配慮した取組」などをとらえさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械で行っている作業と人が行っている作業に気付かせる。</li> <li>安全やマナーを守って見学させる。</li> </ul> <p>【評価⑤】</p>
本 時	1	<p>浄水場とダムのはたらきについてまとめよう。</p> <p>① 浄水場で調べたことを出し合い、水をきれいにする仕組みについてまとめる。</p> <p>② ダムで調べたことを出し合い、水を蓄えておくための仕組みについてまとめる。</p> <p>③ 浄水場やダムで働く人たちの努力や工夫、願いについてまとめる。</p>	◇ 飲料水の確保のために、様々な工夫を行っていることや24時間体制で働いていることと、自分たちの生活とのかかわりを考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や写真をもとにしたながら、浄水場やダムの働きや工夫をとらえることができるようにする。</li> </ul> <p>【評価⑧】</p>
	1	<p>① ダム周辺の森の様子と、その中で作業をする人の写真を見て、気付いたことを話し合う。</p> <p>市の水道部の人は、なぜ森の手入れをしているのだろう。</p> <p>② 理由について予想し、話し合う。</p> <p>③ 資料をもとに、水源の森の働きや、手入れをしている人の工夫や努力、願いを調べる。</p>	<p>○ だれが、何をしているのかをしっかりと押さえた上で、「森の手入れをする(こと)の)ダムの水にとってのよさ」を追究の視点とする。</p> <p>◇ 市の水道部の人の話から、計画的に木を植えたり手入れをしたりしていることの意味について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緑のダム」の言葉の意味について、考えさせる。</li> <li>子どもたちが調べたことを、図や写真などと結び付けて説明させる。</li> </ul> <p>【評価④】</p>

ま と め	1	① 市の人口の移り変わりと、市の一日当たりの水の使用量の移り変わりのグラフの比較から、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">人口が増えているのに、水の使用量が減っているのはなぜだろう。</div> ② 理由について予想し、話し合う。 ③ 資料をもとに、節水のための取組を調べる。	○ 人口が増えているのに水の使用量は減ってきていることの矛盾から問題意識を醸成する。 ○ だれが、どのような取組をしているのかということを追究の視点とする。 ◇ 市の水道部の人の話から、協力して節水に取り組んでいることをとらえさせるとともに、その必要性について考えさせる。	・ だれが主体となった取組なのか分かるように板書していく。 【評価⑦】
	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">水をむだにしないために、わたしたちにできることはなんだろう。</div> ① 学習したことやこれまでの生活をふり振り返り、自分たちにできることを考え、ノートにまとめ、紹介し合う。	◇ 浄水場やダムで働く人たちのはたらきや願いとを関連付けながら自分たちにできることを考えることができるようにする。	・ 家庭で取り組んでいることを想起させるとともに、日常の自分の水の使い方について考えさせる。 ・ 学習したことや生活経験を根拠に、自分なりの節水の取組を考え発表させる。 【評価②④】

IV 本時の授業構想 ( → は指導過程, ↔ は子どもの思考を表す)



V 本時の指導計画

1 目標

水源林を守る理由を追究することを通して、水源林のはたらきと、市が自分たちの飲料水を確保するための取組を計画的に行っていることをとらえることができる。

【知識・理解】

2 評価規準

評価の観点	評価方法と評価規準	期待する記述例	努力を要する児童への手立て
知識・理解	・ ノートの記述内容から、「水源林を守るという飲料水確保にかかわる取組が計画的に行われていることを理解しているか」を評価する。 【評価⑦】	・ 市の水道局の人が森の手入れをしているのは水源林を守りいつでもわたしたちに安全な水を届けるためだ。	・ 板書のキーワードをもとにふり返らせる。 ・ 取組によって、自分たちの生活がどうなるかに目を向けさせる。

3 展 開

段階	学習活動と内容	時間	指導上の留意点 (研究にかかわる手立て [○]、評価 [◇])	資 料
問 題 の 把 握	1 綱取ダム周辺の森林の手入れをする人の写真を見て気付いたことを話し合い、学習問題を設定する。	6分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダムの役割を確認した上で、写真から読み取ることができることを発表させる。</li> </ul> <p><b>【目的意識の明確化】</b>  <b>〈「問題の把握」段階の授業構成の工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの疑問をもとに、森の手入れをしている様子であることを押さえ、行っているのは市の水道局の職員であることを知らせることで、問題意識を醸成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真「綱取ダムとまわりの森林」</li> <li>写真「森の手入れをする市の水道局の人」</li> <li>写真「盛岡市水道水源涵養林の表示」</li> </ul>
	市の水道局の人は、なぜ森の手入れをしているのだろう。			
問 題 の 追 究	2 市の水道部の人から森の手入れに取り組む理由について予想する。 (1) 予想をノートに書く。 (2) 予想を発表し合う。 [予想される内容] ・森は水を作る上で大切だから。 ・水と森は関係があるから。 ・ダムの水が汚れないように。	7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠を明らかにしながら予想を発表できるようにする。</li> <li>机間指導により子どもたちの予想を把握し、後の予想の整理に役立てる。</li> <li>予想が難しい子どもには、ダムの役割を想起させるなど、助言を与える。</li> </ul> <p><b>【目的意識の明確化】</b>  <b>〈「見通し」を大切に学習活動〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出された予想を整理しながら、「森と水の関係」という追究の方向性を確認する。</li> </ul>	
	3 資料をもとに市の水道部の人から森の手入れに取り組む理由について調べる。 (1) 副読本を使って調べる。 (2) 写真資料等から調べる。 ・水源林は森にふった雨水をたくわえるから ・少しずつ流すダムのような役割をしているから ・「緑のダム」とよばれるから ・きれいな水はきれいな森から生まれるから	19分	<ul style="list-style-type: none"> <li>追究の方向性に沿って調べさせる。</li> <li>調べたことを出し合った後、ダムのまわりの森にどんなはたらきがあるか、実験を通して実感的にとらえさせる。</li> <li>水源林を守るために市の人が行っている工夫や努力を具体的にとらえさせるために市の水道局の人のインタビュー映像を視聴させる。</li> </ul> <p><b>【社会的事象の意味を考えるための話し合い】</b>  <b>〈社会的事象の特色や関連をとらえさせるための発問〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「森の手入れをすることが、なぜ水の確保につながるのですか。」という発問をきっかけに考えを出し合い、取組と水の確保についての関連を考えることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験「水源林の保水」</li> <li>映像「水源林を守るための仕事」</li> <li>図「水源林の広さ」</li> <li>図「水源林の手入れのための仕事」</li> <li>図「水源林確保のために働く人の人数」</li> <li>図「水源林確保のためにかかるお金」</li> </ul>
究	4 市が、水源確保に取り組む意義について考える。	5分	<p><b>【社会的事象の意味を考えるための話し合い】</b>  <b>〈多面的な見方や考え方を促す資料提示〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の水道局の人の話の続きを視聴させることで、携わる人々がこれから先の水源確保を見据えて計画的に活動していることをとらえさせる。</li> </ul> <p><b>〈社会的事象の特色や関連をとらえさせるための発問〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「なぜ、ここまでして水源林を大切にしているのでしょうか。」という発問をきっかけに、水源林確保の意義と携わる人の工夫や努力を結びつけて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像「市の水道局の人の話」</li> </ul>
ま と め	5 本時の学習をふり返る。	8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題について分かったことを、再構成して表現させる。</li> <li>自分の考えが変わったり高まったりしたこと、考えたことや感じたこと、自分の生活とのかかわりや次の学習についてという視点からも選択して記述させる。</li> </ul> <p>◇ <b>【知識・理解-⑦】</b> (ノート)</p>	